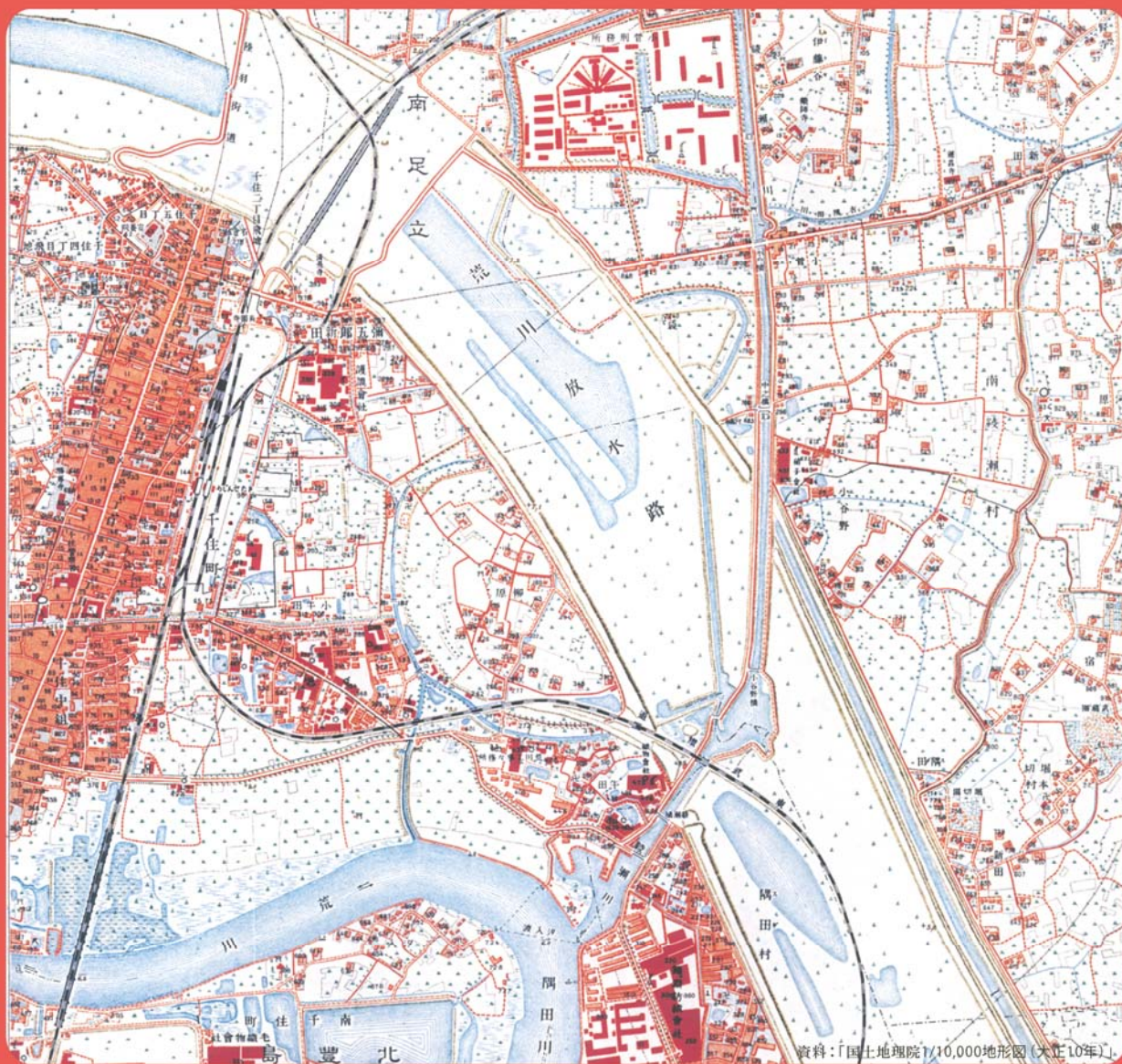


【企画展】

荒川放水路の こぼれ話

～人に話したくなる「人が作った荒川」のあれこれ～



【開催期間】令和3年

1月7日

木

3月7日

日

事前予約制・開館時間短縮



荒川知水資料館(amoa)

【開館時間】平日・土日祝とも10:00～16:00【休館日】月曜日（祝日除く）、月曜日が祝日の場合翌平日、お盆、年末年始
入館無料 ※感染症予防対策として、当面の間「事前予約制」「開館時間短縮」としてあります。

荒川の下流部は、自然にできた河川ではなく、人がつくった人工の河川です。今は荒川と呼んでいますが、かつては荒川放水路と呼ばれていました。

荒川放水路の開削工事は、1911年(明治44年)から着手し、1930年(昭和5年)に完成。今年が荒川放水路完成から90年目を迎えます。「世紀の大工事」と呼ばれた大規模な工事によってつくられた荒川放水路ですが、時が経つにつれて建設当時の様子を知る人も少なくなってきました。

本企画展では、荒川放水路の役割、工事の様子、工事に携わった多くの人々の努力や苦労などを将来に語り継ぐため、「人」から「人」に話したくなるような荒川放水路のこぼれ話を中心に紹介します。

1章 放水路とは

そもそも「放水路」とは、どういうものなのか。荒川放水路について誰かに話をする前に、知っておきたい放水路の役割や種類などを紹介します。



明治43年洪水の被害状況

2章 荒川放水路が計画されるまで

荒川放水路が計画された背景にはどんなことがあったのか。荒川放水路はどのように計画されたのか。計画決定前後の様々な出来事について紹介します。



蒸気掘削機による機械掘削の様子

3章 工事の様子

荒川放水路の工事はどのように行われたのか。水路の掘り方や掘っている様子を当時の写真や旧版地図を用いて解説します。



令和元年東日本台風で増水した荒川

4章 荒川放水路のスゴイところ

荒川放水路の完成後、荒川下流部では洪水による堤防決壊などの被害は一度も起きていません。荒川放水路がなかった場合のシミュレーション結果を用いて、荒川放水路が果たしている役割などを紹介します。

荒川知水資料館

入館無料・事前予約制
(土日祝日を除く3日前までにご予約ください)

[開館時間] 平日・土日祝とも10:00~16:00(最終受付時間は15:00)
[休館日] 月曜日(祝日除く)、月曜日が祝日の場合翌平日、お盆、年末年始
〒115-0042 東京都北区志茂5-41-1 TEL. 03-3902-2271
https://www.ktr.mlit.go.jp/arage/arage_index007.html

事前予約制・来館時のお願いについて

感染症予防対策として、当面の間「事前予約制」「開館時間短縮」としております。事前予約の方法、ならびに来館時のお願い等は、荒川知水資料館ホームページをご覧ください。

<https://www.ktr.mlit.go.jp/arage/arage00935.html>



|アクセス|

南北線「赤羽岩淵駅」または「志茂駅」徒歩約15分
JR「赤羽駅」徒歩約20分
都営バス「岩淵町」または「志茂2丁目」徒歩約15分
専用駐車場はありません。公共の交通機関をご利用ください。